



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社ゼネテック

上場取引所 東

コード番号 4492 URL <https://www.genetec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 憲二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 吉田 順一

TEL 03(6683)3244

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,922	13.7	68	55.1	84	45.1	53	46.3
2020年3月期第3四半期	3,385		152		153		100	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 55百万円 (44.5%) 2020年3月期第3四半期 100百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	29.50	28.62
2020年3月期第3四半期	67.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,588	1,705	65.9
2020年3月期	2,691	1,637	60.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,705百万円 2020年3月期 1,637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				3.50	3.50
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,590	2.8	100	70.1	110	66.4	70	67.0	38.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,920,000 株	2020年3月期	1,920,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	74,079 株	2020年3月期	114,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,827,786 株	2020年3月期3Q	1,494,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により設備投資の減少傾向が続くなど、引き続き厳しい状況となりました。先行きにつきましても、2021年1月に緊急事態宣言が再発出される等予断を許さない状況が依然として続いております。

このような環境の下、当社は第2四半期に引き続き、テレワークを推進することで密を避けた事業活動に一層注力して参りました。今後も当面の間は厳しい状況が続くものと思われませんが、ステークホルダーの方々の安心・安全の確保と事業の両立に継続して取り組んで参ります。

当第3四半期連結累計期間における売上高は2,922百万円(前年同期比13.7%減)、営業利益は68百万円(同55.1%減)、経常利益は84百万円(同45.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は53百万円(同46.3%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

(デジタルソリューション事業)

当第3四半期連結会計期間より、従来「システム受託開発事業」としていた報告セグメントの名称を「デジタルソリューション事業」に変更いたしました。また、従来「エンジニアリングソリューション事業」に含めていたIoT/M2Mビジネスを、事業の見直しにより「デジタルソリューション事業」に含めることといたしました。

当セグメントにおいてはオートモーティブ関連分野において、第2四半期における生産活動の一時停滞の影響を引き続き受けた結果、受注が低迷しました。一方で、デジタル情報家電分野においては「巣ごもり生活」によるテレビ等の家電需要の高まり、ならびに半導体製造装置関連分野においては世界的な半導体需要の回復を受けたことにより、受注が好調に推移しております。さらに成長投資を除く支出の再検討等コスト戦略の見直しを行った結果、売上高は1,890百万円(前年同期比21.2%減)、セグメント利益は269百万円(同28.9%減)となりました。

(エンジニアリングソリューション事業)

当セグメントにおいては、第2四半期に引き続き、営業やユーザートレーニングにおいてWeb会議システム等のツールを用いることで、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先としつつ、お客様への製品供給とサービスの継続に努めました。11月には世界最大級の工作機械オンライン展示会「JIMTOFオンライン」に出展する等、新しい形式での営業活動に取り組んでおります。

また、製造工場・物流・マテハン3Dシミュレーションツール「FlexSim」に関しては、製造工場・物流設備再編による最適化を考慮したレイアウト作成の機運が高まっているため、これに関する引き合いをいただいております。2020年10月には株式会社ブロードリーフと相互代理店契約を締結し、作業分析・業務改善ソフトウェア「OTRS」を取扱い商材に加え、物流・生産現場のデジタルトランスフォーメーションを一層推進する体制を整えました。

以上により、当セグメントの売上高は832百万円(前年同期比10.9%減)、セグメント利益は190百万円(同2.6%増)となりました。

(ココダヨ事業)

従来「その他」としていた災害発生時位置情報通知システム「ココダヨ」につきましては、グループ全体の利益の10%を超えたため、当第3四半期連結会計期間より「ココダヨ事業」として報告セグメントに含めることといたしました。

大手移動体通信事業者が提供するスマートフォンアプリケーション定額利用サービス向けの「ココダヨ」につきましては、収益が期初から徐々に増えておりましたが、12月において収益が過去最大を記録しました。12月末には累計ダウンロード数が50万件を突破し、Android・iOSの各アプリストア版は継続率が98%を超えています。以上の結果、売上高は203百万円(前年同期比252.6%増)、セグメント利益は53百万円(前年同期はセグメント損失11百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,149百万円となり、前連結会計年度末に比べて81百万円減少いたしました。これは主に、前連結会計年度末に増加した売掛金の回収が進んだことによる受取手形及び売掛金の減少381百万円と現金及び預金の増加240百万円によるものであります。固定資産は439百万円となり、前連結会計年度末に比べて21百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のうち、繰延税金資産が24百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,588百万円となり、前連結会計年度末に比べて102百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は544百万円となり、前連結会計年度末に比べて155百万円減少いたしました。賞与引当金が63百万円、未払法人税等が47百万円、短期借入金が40百万円、それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は338百万円となり、前連結会計年度末に比べて15百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は882百万円となり、前連結会計年度末に比べて171百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。これは主に当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益53百万円による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,123,065	1,363,408
受取手形及び売掛金	874,063	492,972
電子記録債権	95,838	83,041
商品	3,985	6,740
仕掛品	55,880	67,297
原材料及び貯蔵品	18,976	25,005
未収入金	22,537	62,735
その他	35,981	47,799
流動資産合計	2,230,330	2,149,002
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	60,892	63,332
工具、器具及び備品(純額)	14,646	14,927
有形固定資産合計	75,538	78,260
無形固定資産		
無形固定資産	9,081	16,635
投資その他の資産		
投資有価証券	18,614	21,754
敷金及び保証金	123,350	118,850
繰延税金資産	174,585	150,092
その他	60,893	55,010
貸倒引当金	△890	△890
投資その他の資産合計	376,553	344,818
固定資産合計	461,173	439,713
資産合計	2,691,504	2,588,716

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,649	226,173
短期借入金	40,243	—
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
未払金	92,277	77,516
未払法人税等	48,357	713
賞与引当金	167,722	104,515
受注損失引当金	—	5,457
その他	61,422	80,298
流動負債合計	700,672	544,675
固定負債		
社債	75,000	35,000
退職給付に係る負債	278,519	303,149
固定負債合計	353,519	338,149
負債合計	1,054,191	882,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	456,917	472,093
利益剰余金	1,143,950	1,191,541
自己株式	△11,345	△7,459
株主資本合計	1,639,522	1,706,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,210	△285
その他の包括利益累計額合計	△2,210	△285
純資産合計	1,637,312	1,705,890
負債純資産合計	2,691,504	2,588,716

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,385,305	2,922,263
売上原価	2,278,270	1,850,901
売上総利益	1,107,034	1,071,362
販売費及び一般管理費	954,611	1,002,936
営業利益	152,422	68,426
営業外収益		
受取利息	129	114
受取配当金	204	196
為替差益	—	1,311
助成金収入	7,616	14,648
その他	2,011	1,079
営業外収益合計	9,961	17,351
営業外費用		
支払利息	1,601	632
支払手数料	—	790
株式公開費用	6,500	—
その他	1,167	321
営業外費用合計	9,269	1,744
経常利益	153,115	84,033
税金等調整前四半期純利益	153,115	84,033
法人税、住民税及び事業税	19,072	6,647
法人税等調整額	33,689	23,474
法人税等合計	52,762	30,121
四半期純利益	100,353	53,912
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,353	53,912

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	100,353	53,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	319	1,924
その他の包括利益合計	319	1,924
四半期包括利益	100,672	55,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	100,672	55,836

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)	四半期連結財務諸表計上額
	デジタルソリューション事業	エンジニアリングソリューション事業	ココダヨ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,393,264	934,198	57,842	3,385,305	—	3,385,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,041	500	—	6,541	△6,541	—
計	2,399,305	934,698	57,842	3,391,846	△6,541	3,385,305
セグメント利益または損失(△)	379,731	185,399	△11,653	553,476	△401,054	152,422

(注) 1.セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配賦できない営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額(注)	四半期連結財務諸表計上額
	デジタルソリューション事業	エンジニアリングソリューション事業	ココダヨ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,885,868	832,434	203,961	2,922,263	—	2,922,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,644	120	—	4,764	△4,764	—
計	1,890,512	832,554	203,961	2,927,027	△4,764	2,922,263
セグメント利益	269,933	190,131	53,050	513,115	△444,689	68,426

(注) 1.セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配賦できない営業費用であり、その主なものは本社管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは2020年10月1日に組織変更を行い、報告セグメントを変更しております。当第3四半期会計期間より、従来「システム受託開発事業」としていた報告セグメントの名称を「デジタルソリューション事業」に変更いたしました。また「その他」としていた災害発生時位置情報通知システム「ココダヨ」につきましては、グループ全体の利益の10%をこえたため、当第3四半期会計期間より「ココダヨ事業」として報告セグメントに含めることといたしました。また、当第3四半期会計期間より、従来「エンジニアリングソリューション事業」に含めていたIoT/M2Mビジネスを、事業の見直しにより「デジタルソリューション事業」に含めることといたしました。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、いずれも変更後のものであり、前年同期の数値については、旧報告セグメントからの組み替えを行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。